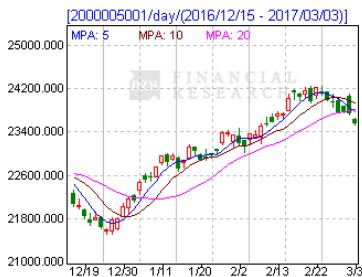


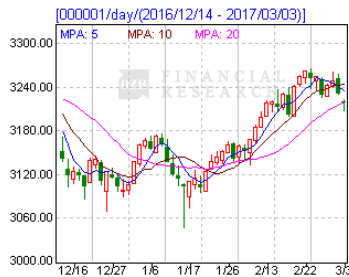


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,005.71	2.74	0.01	0.88	6.29	19,762.60
NASDAQ	5,870.75	9.53	0.16	0.44	9.06	5,383.12
日経225	19,469.17	-95.63	-0.49	0.96	1.86	19,114.37
上海総合	3,218.31	-11.72	-0.36	-1.08	3.69	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,427.86	-7.23	-0.21	-1.32	3.56	3,310.08
ハンセン	23,552.72	-175.35	-0.74	-1.72	7.06	22,000.56
H株	10,144.47	-102.42	-1.00	-2.63	7.98	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.7%安と続落、上海総合指数は1.1%安

香港市場ではハンセン指数が1週間で1.7%安と続落。中国の2月の製造業PMIが市場予想を上回ったことで1日にはハンセン指数が小反発したものの、この日を除く4日間はいずれも下落。週後半は米国の3月利上げ観測の高まりに加え、香港市場からの本土マネー流出懸念が相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が1週間で1.1%安と4週ぶりに反落。全人代の開催を控えて前週まで3週続伸と堅調に推移していただけに、政策期待で買われていた銘柄を中心に利益確定売りに押される展開となった。

今週の展望:香港市場は底堅い展開か、全人代開幕で本土市場の動向が注目材料

香港市場は底堅い展開か。3月の米利上げ観測が強まるなか、資金流出懸念が高まっている点がマイナス材料だが、5日に中国の全人代が開幕したことで政策的な思惑が高まりやすい。ハンセン指数は足元で調整圧力が強まっているが、中国の政策期待を背景に下値では底堅い展開が見込まれる。ただ、10日に米雇用統計の発表を控えており、週末にかけて慎重姿勢が強まる公算が大きい。一方、本土市場は貿易統計や物価統計の発表に加え、全人代の開幕で政策的な思惑も高まりやすく、不安定な展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 銀河娛樂(00027)	38.60	4.32
2 昆侖能源(00135)	6.97	3.41
3 サズ・チャイ(01928)	33.15	3.11
4 中電控股(00002)	79.20	1.73
5 信和置業(00083)	13.60	1.64
6 長江和記実業(00001)	95.35	0.90
7 吉利汽車(00175)	10.70	0.56
8 ホンコン・チャイナガス(00003)	15.06	0.53
9 AIAグループ(01299)	49.00	0.51
10 中銀香港(02388)	31.20	0.48

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国銀行(03988)	3.79	-4.53
2 ペトロチャイナ(00857)	5.85	-4.26
3 華潤置地(01109)	20.50	-4.21
4 中国工商银行(01398)	4.93	-4.09
5 中国建設銀行(00939)	6.15	-4.06
6 中国人寿保険(02628)	23.40	-3.90
7 長江実業地産(01113)	51.50	-3.65
8 香港証券取引所(00388)	191.40	-3.33
9 中国海外発展(00688)	23.30	-3.32
10 交通銀行(03328)	6.05	-3.20

▼今週の主なイベント

- 3月5日(日)
- 【中国】全人代開幕(15日まで)
- 3月9日(木)
- 【中国】CPI、PPI(2月)
- 3月10日(金)
- 【米国】雇用統計(2月)

▼今週の期待材料

- ◆NY市場でダウ平均が4週続伸、S&Pとナスダック総合が6週続伸と過去最高値圏
- ◆中国で不動産税の立法作業見送り、全人代報道官が「全人代で草案審議の予定なし」と明言
- ◆中国の政府活動報告で企業の税負担軽減の方針を発表、電力・石油などの業界で国有企業改革を推進

▼今週の懸念材料

- ◆中国の17年の経済成長率目標を6.5%前後に設定、16年の6.5-7.0%から実質引き下げ
- ◆李克強首相が政府活動報告で金融システムリスクへの警戒感を強調、17年のM2目標も16年から引き下げ
- ◆米国の3月利上げ観測高まる、10日に米雇用統計の発表を控え慎重姿勢強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 金蝶国際ソフト (00268) : 16年本決算は純利益2.5倍の見通し、ERP業務など寄与
- ☆ 万科企業 (02202) : 2月の不動産販売額が2.4倍に拡大、販売面積は98%増加
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 2月の新車販売台数は67%増、1-2月では42%増加
- ☆ 中国恒大集団 (03333) : 2月の不動産販売額が倍増、販売面積は85%増加
- ☆ 聯想控股 (03396) : オンライン決済サービスを手掛ける関連会社が深セン上場を申請
- ◇ 石薬集団 (01093) : 医薬品販売を手掛ける河北詩薇の全権益を2億円で買収
- ◇ 靈宝黄金 (03330) : 16年本決算は赤字継続も赤字額は大幅に縮小の見通し
- ★ ワーフ (00004) : 9日に16年本決算を発表、市場予想は20%減益と苦戦の見通し
- ★ 香港鐵路 (00066) : 7日に16年本決算を発表、市場予想は29%減益
- ★ チャイナ・モバイル (00941) : 携帯電話の長距離料金やローミング費が年内廃止に

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。